

2024/02/24(土)

## 入笠山(冬山合宿日帰組)

メンバー:L 谷内、伊藤・福田、有賀、辻(記録)

冬山合宿が気象条件の変動により当初の計画であった佐渡山から入笠山に変更になった。

国道から沢入登山口駐車場までは前日の降雪により凍結の上の積雪で悪路となっていた。到着時の先行車4~5台？

入笠湿原までの登山道は10センチくらいの積雪ではあるが新雪の下は凍っていて滑る。途中から法華堂経由でゲートがある御所平登山口までツボ足で歩く。ゲートの先を突っ切って夏場は花が咲く歩行禁止区域を上る。朝の冷え込みで雪面がダイヤモンドダストのようにきらきら輝いていて幻想的だ。

登山道に入ってからアイゼンを装着。山頂までの急登はアイゼン歩行で歩く。青空をバックに真っ白に雪で覆われた樹林はモンスターとまでは言えないが美しい冬山の風景そのものだ。

山頂はロープウェイ到着前で人はまばら。360度の展望はいつにもまして絶景だ。泊り組合宿のメンバーも今頃は中央アルプスの銀嶺を極めている頃だろうか。

富士山、のこぎり、仙丈、中央アルプスの左に恵那山、小八郎・烏帽子、南木曾岳、御嶽も真っ白だ。八ヶ岳はやけに黒い。下界を覆いつくす雲海もふわふわの綿菓子のようなようだ。

もうすぐ88歳になるという男性が今年で20回、去年は205回登ったと言った。マナスル山荘管理人のご尊父なのだそう。なんと谷内さんが中央病院で病気を見つけた方だった。ご対面の様子がとてもほほえましかった。お元気そうで何より！

山頂から広河原湿原に向けて下山。広河原に到着も時間がまだ10時ということで湿原を一周することにした。木道の上に積もった新雪の下も凍っている。トラウマの木道だけアイゼン歩行なのでまだまし？

湿原は少し森林化してきている。木の枝に積もった雪に触れないように気を配るが、時には思いがけない洗礼を受ける。他に3人組パーティー2組も一周していた。

福田さんのアイゼンが2度ほどはずれかかった。途中で片方外しての歩行は歩きづらかったよね。谷内さんが修理を試みるが欠陥品？との結論。モンベルに修理依頼するはめになりそう。

休憩の後アイゼンは脱いでツボ足で林道歩行開始。キツネカタヌキ？ヒズメの足跡もありカモシカ？林道はくねくねと長いのでショートカット。カーブしている個所から尾根伝いに下るルートファインディング。登山道は無く雪の積もった笹原を藪漕ぎで下る。笹を踏み倒しながら滑ってよろけ、時には尻もちをつき何とか林道に出る。これを2回繰り返し最後は林道歩きで駐車場まで戻る。林道は新雪の下がスケートリンク状態でバランスを崩すとおととつ！状態。何回か転んだ人もいたなあ～。

動物の足跡とスノーモービルの跡以外は全て雪に覆われ、音のない静かな空間が広がっていた。このコースを歩く登山者は無く、風もなく穏やかな日和。青空に生える樹氷。眠りについているような森閑とした山の中の歩きは心に染み入った。

雪が少なくワカン歩行の訓練はできなかった。もろもろの事情で参加できなかった若者3人、次回は一緒に訓練できるといいね。



【コースタイム】 天気／晴→曇り

06:50 沢入登山口 ツボ足

08:20 御所平登山口 アイゼン装着

09:00 入笠山 30分休

09:55 首切清水

10:05 大河原湿原

10:35 テイ沢分岐

10:55 大河原湿原入口 30分休

林道歩き+ルートファインディング ツボ足

12:30 沢入登山口



富士山

北アルプス



中央アルプス



御岳



ハケ岳と雲海



蓼科山



笹藪 ルートファインディング

